

公認スキー準指導員検定会 (SAK2025年度)

主催 公益財団法人 全日本スキー連盟
主管 公益財団法人 神奈川県スキー連盟

期日 2026年2月28日(土)~3月1日(日)
会場 長野県 車山高原 SKYPARK スキー場
本部 車山ハイランドホテル

上記、日程で公認スキー準指導員検定会が行われました。

今年は、例年よりも雪が少なく、それに加え、このところの暖かさで雪質も悪く、検定バーンで使用するビーナスコースも所々の雪が解け、草が見えている状態でした。そのため当初予定していたバーン使用の変更、予定していた種目の順番の変更もありと受検者、検定員ともとまどうような状況でした。特に、総合滑走(リズム変化)は、当初、午後にビーナスコースでの予定でしたが、スラロームコースで最初の種目となり受検者の方々は大変だったことと思います。そういう状況でしたが、トラブルもなく、けがをされた方もなく、1日目の実技検定は無事に終了しました。

2日目は、車山ハイランドホテルメープルホールに於いて10時より1時間理論検定が行われました。昼をはさみ午後1時25分より30分程の時間を用いて、今シーズンからスポンサーとしてお付き合い頂く、「株式会社日本トリム」様より会社概要、商品等のプレゼンテーションがありました。そのあと午後2時より検定結果発表があり、合格者20名のビブ番号が呼ばれました。最後に発表された合格者1名ずつに合格証が授与されました。

今回の公認スキー準指導員検定会結果…申込み者55名、出走者48名、合格者20名(合格率、出走48名に対して41.7%でした。)

合格された方、おめでとうございます。

車山行事IV 参加役員代表のご挨拶

(公・財)神奈川県スキー連盟 副会長 金子理人(SAJ 立会責任者)

2日間に渡り、検定会お疲れ様でした。

実技試験では、雪の状態が良くない中、受検生の皆様の熱い滑りを見せて頂きました。

理論検定では、皆様が学ばれた内容を十二分に記載されたことと思います。私も、皆様がチャレンジされる姿を見て、このような関門を通過してきたことを懐かしく思い出しました。

昨日の厳しい雪面状況の中で演技されたことはスキー指導者を目指す皆様にとって良いキャリアとなり、さらなる成長に繋がったことと思います。

今後の後進指導にとっても今回の受検の経験を活かして頂き、今回皆様をサポート頂いたクラブ員、協会員の皆様のように、今度は皆様が多くの仲間を当連盟に送り込んで頂けますことを期待しています。

最後に、厳しい自然環境の中、このように素晴らしいバーンを整備、提供頂きました、スキー学校を始めとするスキー場関係者のみなさまに深く感謝申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

2025年度公認スキー準指導員検定会の主任検定員講評

SAK 教育本部副本部長 主任検定員 田村昌重

全体

雪面状況が悪い中での検定会となりました。

こうした状況では、いかにセンターポジションを外さずに滑っているかの差が顕著に現れます。

A 班

シュテムターンからベーシックパラレルターンへの展開

柔らかい雪の為減速しやすく、足元を取られやすい状況でした。その為しっかり外足に荷重して上体を安定させることが必要でした。しっかり外足に乗れている方は、やわらかい雪の中でもしっかりコントロールできていました。外スキーを開き出す時は、足だけを動かすのではなく、重心移動しながらターン始動のポジションに入る事が重要です。この動きが出来ている方は、柔らかい雪でもきちんと前半からコントロールして評価も高かったです。柔らかい雪だからこそ、外足にしっかり乗ることが重要となります。

横滑りのショートリズムからベーシックパラレルターン小回りへの展開

雪不足に加えて一部荒れた斜面や視界不良という条件下での検定となったが、脚部主体の運動で外脚から次の外脚へ確実に乗り込めている滑りは高評価としました。一方、ローテーションにより雪面からの圧を逃がしてしまう滑りには厳しい評価となりました。横滑りからパラレルターンまで、エッジングの強弱やずらす方向を使い分け、ターン弧を調整できる滑りを期待したい。

パラレルターン小回り(不整地を含むナチュラル)

比較的難易度の低い浅いコブでありましたが、雪面は柔らかく脚が取られやすい状況でした。腰のローテーションにより、運動が途切れてフォールラインから外れてしまったり、腰折れ状態により身体が潰されたり、スタンスが安定せずスキーがバラけてしまうような方は厳しい評価としました。そんな中でも安定した上体の構え、正確なスキー操作で外脚主体の交互運動を使い、リズムカルにターンを刻んだ方は、高評価となりました。

B 班

総合滑降リズム変化

視界が悪い中でしたが転倒する方もなく、日頃の成果を出せた方が多かったと思います。視界が悪いなかでも速度を維持し、ターン弧を調整しながら演技できた方には合格点以上がついています。

ブルークボーゲン

現在のスキー教程の根幹であるポジショニング、エッジング、荷重が理解された運動が現れていることが求められます。バーンコンディションが悪い中でもセンターポジションが維持され、外スキーのインエッジのエッジングと荷重によって推進しながら、板のタワミによってターンしているかが合否を分ける結果に繋がっています。

ブルークボーゲンからベーシックパラレルターンへの展開

ブルークボーゲン同様にセンターポジションが維持され、エッジングと荷重を強め、板のタワミを引き出すことで推進力が増し、外スキーの外力が強まることでパラレルターンへ展開する運動が表現されるかが合否を分けました。

理論

皆様、大変良く出来ていました。

スポンサー「株式会社日本トリム」様のご紹介

SAK 企画マーケティング本部長 百海 廷

日本トリム様 URL: <https://www.nihon-trim.co.jp/>

スポンサー企業によるプレゼンテーション実施内容

2026 年度 公認準指導員検定会(主管:神奈川県スキー連盟)において、本連盟の協賛スポンサーである株式会社日本トリム様によるプレゼンテーションを実施いたしましたので、以下の通りの内容にて実施しました。

1. 実施概要

- 日時: 2026 年 3 月 1 日(日) 合格発表前(約 30 分間)
- 会場: 車山高原スキー場 車山高原ハイランドホテル 地下会議室
- 対象者: 準指導員検定受検者、応援者、連盟役員・関係者(計 約 100 名)

2. 実施目的

本連盟が推進する安全で健康なスキーライフの啓発の一環として、日本トリム様が提唱する「ウォーターヘルスケア」(電解水素水による健康管理)をアスリートおよび一般スキーヤーに周知し、パフォーマンス向上とコンディショニングに役立てていただくことを目的としました。

3. 内容および当日の様子

- 企業紹介: 医療現場での電解水透析や、プロ野球・女子サッカーへの支援実績を通じ、同社が「グローバルメディカルカンパニー」として多角的に展開されている背景が説明されました。
- プレゼンテーション: 当日は長野営業所より 2 名のスタッフが来場。電解水素水がもたらす健康維持へのメリットについて、スキーヤーの視点に立った解説が行われました。
- 協賛品の配布: 電解水素水のペットボトル、スプレーローション、電解水素水使用の缶入りパンなど、計 100 名分のサンプルが参加者全員に提供されました。



日本トリム様によるプレゼンテーションの様子

4. 成果と今後の展望

- 反響：会場は非常に活気にあふれ、製品への関心が非常に高く、その場で整水器の成約に至るケースも見受けられました。
- 評価：スキー行事におけるスポンサー企業のプレゼンは初の試みでしたが、受検者・連盟双方にとって有益な情報共有の場となりました。
- 今後：今回の成功をモデルケースとし、今後もスポンサー企業との連携を深め、会員への付加価値提供と連盟活動の活性化を図ってまいります。

以上

編集後記

今回、3年ぶりに車山行事Ⅳ、公認スキー準指導員検定会の取材をさせて頂きました。受検者はもちろん、各検定員、役員の方々にも緊張感があり、張り詰めた空気の中、一つ一つ検定種目が行われ、写真を撮っている私もその中に入って行き、緊張感を感じ、少しでも良いレポートをと思い2日間過ごすことが出来ました。今シーズンは暖かい日が続き、例年になく雪不足と雪質の悪さで、検定バーンの急な変更、種目順の変更で受検された方々、検定バーンを設定する検定員の方々のご苦労は大変だったと思います。

今回の検定会は、2班に分かれて行いましたので、全種目の写真撮影が出来なかったこと、1日目の天候が悪く、ガスがかかり思うような写真が取れなかったことが残念でした。

受検された皆様も本当にお疲れだったと思います。合格された方は一層、継ぎの目標に向かって頑張ってください、残念ながら不合格の方も、是非来年チャレンジして頂ければと思います。頑張ってください。

最後に検定員、役員の方々、また、この日までいろいろ準備されて来られた方々本当にお疲れ様でした。また、お忙しい中、ご挨拶文、講評等を書いて頂き感謝致します。受検者及び、検定員、役員の皆様、ご協力ありがとうございました。お礼申し上げます。

広報委員 佐野 肇



公認スキー準指導員検定会
の検定員、役員